

山田泰広名誉教授，丸山徹名誉教授 退職記念号

南山大学長 鳥巢義文

南山大学短期大学部英語科教授であった山田泰広先生，南山大学人文学部日本文化学科教授であった丸山徹先生は，2019年3月31日，本学をご退職されました。山田先生は40年，丸山先生は36年の永きにわたり本学における教育研究ならびに学部・研究センター等の運営に携わり，大学全体の発展のために大変ご尽力くださいました。ご退職にあたって，両先生のご功績を称え，本学から名誉教授の称号を贈呈いたしました。また，このたび南山学会は，深甚なる敬意と感謝の念を込めて，両先生の退職記念号として『アカデミア』文学・語学編第107号を発刊することにいたしました。ささやかではありますが，これが多少なりとも先生方へのご恩返しになれば望外の幸せに存じます。

山田先生は，名古屋大学大学院文学研究科修士課程を修了後，1979年に，名古屋市昭和区隼人町にあった南山短期大学へ講師として着任され，助教授を経て，1995年に教授に就任されました。短期大学では，外国語研究センター研究員として活躍され，その後，2011年に短期大学が南山大学短期大学部に名称変更され，校舎が大学名古屋キャンパスへ移転されてからも，短期大学部教授，同学部長，南山大学評議員などの要職を務めてくださいました。また，着任以来，ジェラード・マンリ・ホプキンスを中心として，英国近代詩に関する多くの業績を著していらっしゃいます。

丸山先生は，東京大学大学院人文科学研究科博士課程を単位取得満期退学の後，1983年に，本学文学部講師として着任され，助教授を経て，

1997年に教授に就任、2000年の改組により人文学部教授となりました。学内では、ラテンアメリカ研究センター研究員、学科長、南山大学評議員などの要職を務めてくださいました。また、着任以来、コンカニ語・ポルトガル語および原典資料に基づくキリシタン文献に関する多くの研究業績を著していらっしゃいます。

両先生の長年にわたる献身的な教育・研究、さらには大学運営への多大なる貢献があってはじめて、現在の南山大学があるといえます。この偉大なご功績に心より感謝し、今後も南山大学が更なる発展を遂げられるよう、全員で努力していく所存です。ご退職後も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、ご多忙中にもかかわらず玉稿をお寄せくださいました皆様方に御礼を申し上げますとともに、両先生におかれましては、今後ともご自愛の上、いつまでもご健康でご活躍なされますよう、心よりお祈り申し上げます。